

化学療法指示書

登録番号 106

CDDP + DTX 3~4週毎 4~6コース

ID:				
氏名			指示者	
身長	cm	体重	kg	体表面積
				m ²

・非小細胞肺癌

CDDP (cisplatin、シスプラチン) 80mg/m² = ()mg/body day1

DTX (docetaxel、ドセタキセル) 60mg/m² = ()mg/body day1

※内服薬

Day1: アプレピタント(125mg) 1cap ルート確保時に

Day2, 3: アプレピタント(80mg) 1cap 朝食後

Day2~4: デカドロン4mg 2錠 朝食後

コース目 月 日 (day 1)

生理食塩液100mL ルート確保・フラッシュ用

パロノセトロン注(0.75mg)	1 袋
デキサート (6.6mg)	1 A
デキサート (1.65mg)	2 A

15分

ルートキープ時に
アプレピタント(125mg) 1 cap内服

生理食塩液 250mL	
ドセタキセル ()mg	

60分

KN3号500mL	
硫酸マグネシウム補正液 8 mL	

90分

KN3号500mL	
-----------	--

90分

マンニトールS300mL	
--------------	--

30分

フロセミド(20mg) 1 A
(マンニトールS終了後、i.v.)

生理食塩液 500mL	
シスプラチン ()mg (全量500mLとする)	

120分

生理食塩液 500mL	
-------------	--

90分

KN3号500mL	
-----------	--

90分

◆ 嘔気時:(開始後28日目)まで 適宜下記を投与

1) グラニセトロン注(3mg/50mL) 1袋+エリーテン(10 mg) 1A 点滴静注(30分)

(1日に2回まで)

2) 生食100 mL+デキサート(6.6mg)1A+エリーテン(10 mg)1A 点滴静注(60分)

(1日に1回まで)

◆ 投与開始基準

第1コースday1開始基準	第2コース以降day1開始基準	第2コース以降の投与量減量基準		
PS:0-1	PS:0-1	前コースの毒性	CDDP	DTX
WBC \geq 3000	WBC \geq 3000	Nue<500が 4日間以上継続	変更なし	60→50
NEU \geq 1500	NEU \geq 1500		38℃以上の発熱を伴う G3 (<1000) 以上の 好中球減少	
Hb \geq 9.0	PLT \geq 100000	PLT<25000		変更無し
PLT \geq 100000	AST/ALT \leq 100	Cre>1.5mg/dl	60→50	
AST/ALT \leq 100	感染を伴う38℃以上の発熱がない			G3以上の非血液毒性 (※1)
感染を伴う38℃以上の発熱がない	クレアチニン \leq 1.5mg/dl			
クレアチニン \leq 1.2mg/dl	便秘・食欲不振・悪心・粘膜炎・疲労・静脈炎 \leq G2			
総ビリルビン \leq 2.0mg/dl	上記の項目を除く非血液毒性 \leq G2			

※1 食欲不振・悪心・嘔吐・低Na血症・低K血症・体重減少・脱毛は除く